

令和8年度 学校評価報告書 **目標設定**・実施結果

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1	教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> 新たに工業教育の充実と多彩な進路に対応する教育課程を提供する。 探究活動を通し、自らの課題発見と解決能力を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①新たな教育課程の完成年度として指導内容を確立し、就職、進学共に満足する学習環境を提供する。 ②工業教育の活性化を図り、探究活動を通して自己理解・自己管理能力、キャリアプランニング能力、課題対応能力の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ①2年次、3年次の進路別選択科目により生徒の進路に合わせたきめ細かな教育課程の提供を行う。 ②資格取得やコンテスト等への参加を促し、より多くの生徒に成功体験を積み重ねる機会を提供することで、進路実現に向けた意識向上を図る。 ③実習や課題研究、総合的な探究の時間、向工 Fes 等の体験活動を積み重ね、自己理解・自己管理能力、キャリアプランニング能力や課題対応能力の向上を図る。積極的に大学や企業と連携できるよう協力を仰ぐ。 	<ul style="list-style-type: none"> ①自分の進路に合わせた選択科目を選択し、効果的な学習が行えたか。 ②資格取得への取り組み意識が向上し、昨年度と比較し受検者数が増えたか。 ③探究活動や向工 Fes 等のふりかえりや研究発表等生徒の成果・発表により、自己理解・自己管理能力、キャリアプランニング能力や課題対応能力が向上したか評価する。 					
2	(幼児・児童・) 生徒指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の主体性、協調性の育成をめざし、学校行事や部活動等を推進する。 生徒の安心・安全な学校生活に向けて、生徒一人ひとりに応じた支援を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①生徒会や各委員会の活動において、生徒の主体性を高めるとともに、部活動の活性化を支援する。 ②生徒の状況把握に努め、生徒一人ひとりに寄り添った生徒指導・支援を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ①文化祭や体育祭などの生徒会行事において生徒の意見を取り入れながら、生徒が主体的に企画運営に携われるよう支援する。 ②週に1回、教育相談支援チームで生徒に関する情報共有を行う場を新たに設けることで、SC や SSW との連携やサポートドックのさらなる有効活用を図り、職員が組織として生徒一人ひとりの課題に寄り添った対応を行えるよう支援する。 ③問題行動の未然防止として、些細な情報も漏らさず、きめ細やかな対応を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ①生徒会や各委員会活動、学校行事で生徒の主体的に参加する取組が新たに実現できたか。 ②部活動の加入率が50%を上回るとともに、活動に対する満足度が高まったか。 ③課題を抱える生徒について、教育相談支援チームとして職員間の情報共有を密にし、適切な教育相談窓口につなげることができたか。 ④問題行動の未然防止を行い、前年度の特別指導の件数と比較をする。 					

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
3	進路指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> 生徒一人ひとりの進路実現のため社会的、職業的自立に向け、能力や態度を育成する。 生徒の多様な進路選択に向けた情報収集や情報整理能力を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①進路選択における進路指導の充実を図る。 ②専門業者と連携し、進路選択に向けた知識を広め、ミスマッチを防ぐ。 	<ul style="list-style-type: none"> ①ICTを活用した情報提供を行い、進路に関する相談時間を確保する。 ②専門業者を利用し、説明会・セミナー等を開催するとともに、模擬試験や面接、履歴書指導等を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ①ICTの活用により、昨年度と比較して生徒がより多くの情報収集と相談時間の確保ができたか。 ②自己の実力を判断し、進路選択に役立てることができたか。また、進路希望を実現することができたか。 					
4	地域等との協働	<ul style="list-style-type: none"> 「学校を核とした地域づくり」をめざして、地域と学校が相互に連携・協働して行う様々な活動を推進する。 中学校やその生徒、保護者へ向け、本校の魅力・特色を広報し、地域に根差した学校づくりを進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ①地域・企業連携事業への生徒参画を促し活動を推進することで実効性の向上を図る。 ②中学生や地域住民を対象とした広報活動を強化し、本校の教育活動への理解と認知度を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ①ジュークボックス修理や支援学校連携、文化祭での企業ブース開設、地域行事への生徒参画を通じ、活動の深化と活性化を図る。 ②HPやInstagramの更新頻度向上に加え、保育園交流や小学生対象イベント、文化祭の地域広報を強化することで、本校の教育活動を広く周知し、地域認知度の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ①各事業にかかわった参加者の数、参加者へのアンケートで来年度も継続したいか、参加して何が得られたか等により評価する。 ②Instagramの登録数、文化祭の一般来場者数、イベントの参加者数やアンケートで「何を見て本校を知ったか」、「また参加したいか」等により評価する。 					
5	学校管理 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> 学校と授業のICT化を支える情報管理を図る。 生徒の安心・安全な学校生活に向けて、防災教育・環境保全を推進する。 職員の資質向上や、風通しの良い職場づくりにより、事故不祥事防止を未然に防止する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①ICT運用上のトラブルを防ぎ、安全で効果的なICT活用を支える情報管理を定着させる。 ②生徒が災害時に自ら判断し、安全に行動できる力を育てる防災教育を推進する。 ③定期的な職員打合せで事務上(私費会計業務等)の課題を共有し、疑問や不安を気軽に相談できる雰囲気醸成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①情報管理の運用状況や課題を定期的に確認する。 ②職員の防災対応力向上と指導の共通理解を図るとともに、防災訓練や学習活動を通して、生徒が状況を判断し、適切かつ安全に行動できる力の育成を図る。 ③私費会計研修を実施し、適正な会計処理への理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ①情報管理の運用状況について定期的に確認し、課題を整理した上で改善につなげることができているか。 ②防災時の対応について職員間の共通理解が図られ、実践的な訓練や学習活動を通して、生徒が自ら状況を判断し、安全かつ適切に行動できる力が育成されたか。 ③私費会計研修を通して、職員が会計処理のルールや留意点を理解し、適正に業務を行えているか。 					